

# CCUS早期社会実装のための環境調和の確保及び脱炭素・循環型社会モデル構築事業 (一部経済産業省連携事業)



【令和5年度予算(案) 7,500百万円(8,000百万円)】

CCUS (CO<sub>2</sub>の分離回収・有効利用・貯留) の技術を確立するとともに、実用展開に向けた実証拠点・サプライチェーンの構築を行います。

## 1. 事業目的

2030年のCCUSの本格的な社会実装と環境調和の確保のため、商用化規模におけるCO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術等の確立とともに、脱炭素・循環型社会のモデル構築を通じ、実用展開に向けた実証拠点・サプライチェーンを実現する。

## 2. 事業内容

### (1) 二酸化炭素貯留適地調査事業 (経済産業省連携事業)

海底下地質の詳細調査結果を受けて、CO<sub>2</sub>の海底下貯留に適した地点の精査を行う。

### (2) 環境配慮型CCUS一貫実証拠点・サプライチェーン構築事業

#### (一部経済産業省連携事業)

CO<sub>2</sub>分離回収・有効利用設備の実証等の運用・評価実績をもとに、CCUSの実用展開のための一貫実証拠点・サプライチェーンを構築する。また、CO<sub>2</sub>の資源化を通じた脱炭素・循環型社会のモデル構築、国際協調を踏まえたCO<sub>2</sub>輸送・貯留等の実現性検討や案件形成を通じた関連技術・ノウハウの涵養等を行う。

### (3) 海洋環境保全上適正な海底下CCS実施確保のための総合検討事業

苫小牧沿岸域にて実証を行っている海底下CCS事業、CO<sub>2</sub>圧入終了後に係る、利用可能な最新・最善の技術(B.A.T)・知見を活用した適正なモニタリングや規制の在り方について、ステークホルダーへの影響を十分考慮し検討を行う。

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 委託
- 委託先 民間事業者・団体、大学、公的研究機関 等 ◆ CO<sub>2</sub>分離回収
- 実施期間 (1) 平成26年度～令和5年度、(2) 平成26年度～令和7年度  
(3) 令和3年度～令和7年度



## 4. イメージ

### CCUSの一貫実証イメージ

